

板橋区基本計画 2025 等の進捗状況

基本目標	Ⅲ「安心・安全で快適な緑のまち」		
個別政策	Ⅲ-2「万全な備えの安心・安全」	(主な行政分野)	防災・危機管理
10年後の あるべき姿	自助・共助・公助の連携によって防災・防犯対策が充実し、災害や犯罪などのリスクが低減され、安心して暮らせる地域コミュニティとネットワークが形成されています。 倒れない、燃え広がらないまちづくりが進み、災害が起こっても助けあいながら行動できる安心感があります。 新たな感染症などによる健康危機への対策が充実し、区民の健康に関する安全と安心が確保されています。		
当該分野の 主な個別計画	地域防災計画		

1 板橋区基本計画 2025 施策指標の達成状況

指標項目	当初値	目標値 (令和7年度)	現状値 (令和5年度)	進捗状況
<b>01 地域防災の支援</b>				
災害時に備えて家庭内での対策を行っている区民の割合 (㊦)	83.3% (H29年度)	㊦	83.6%	概ね順調
住民防災組織の防災訓練実施率 (㊦)	62% (H26年度)	100%	44.9%	
<b>02 減災・防災対策の推進</b>				
災害情報の収集環境を確保している区民の割合 (㊦)	92.6% (H29年度)	㊦	86.5%	概ね順調
防災・緊急情報メール及び防災マップアプリの登録者数 (㊦)	23,269人 (H27.3)	63,000人	45,441人	
<b>03 防犯力の高いひと・まちづくりの推進</b>				
治安が保たれていると感じる区民の割合 (㊦)	51.4% (H27年度)	㊦	65.3%	概ね順調
犯罪発生件数 (㊵)	6,196件 (H26年度)	㊵	2,916件	
<b>04 老朽建築物等対策の推進</b>				
危険な老朽建築物等を解消した割合 (㊦)	0件 (H26.12)	207件	208件	順調
<b>05 倒れない・燃え広がらないまちづくりの推進</b>				
耐震化率(木造住宅・マンション)	84.1% (H26年度 推計値)	(木造住宅) (マンション) 95.0%	(木造住宅) 86.4% (マンション) 88.0%	順調
不燃化促進区域の不燃化率(補82板橋地区) (㊦)	63.9% (H26年度 推計値)	70%	69.4%	
不燃化特区の不燃領域率(大谷口一丁目地区) (㊦)		70%	66.0%	
無電柱化指定路線数 (㊦)	0路線 (H28.1)	4路線	0路線	

指標項目	当初値	目標値 (令和7年度)	現状値 (令和5年度)	進捗状況
<b>06 感染症等予防対策の推進</b>				
板橋区の結核罹患率(人口10万人対) (㊵)	21.9人 (H26年度)	15.4人	10.6人	順調
麻しん風しん混合第1期接種率 (⇒)	96.6% (H26年度)	95%以上	97.8%	
<b>07 食品・環境の衛生力向上</b>				
区内製造・流通食品の検査における違反・不良率の減少 (㊵)	3.3% (H26年度)	0%	0%	概ね順調
理化学検査(環境衛生関係施設)に基づく指導数 (㊵)	43件 (H26年度)	0件	16件	

【進捗状況の評語】

「順調」：計画どおりに進捗しており、目標達成が見込める状態。

「概ね順調」：進捗状況に課題はあるが、事業の継続により目標達成が見込まれる状態。

「停滞」：目標に対してあまり進展していない状態。

2 No.1プラン 2018～2025 における実施計画事業の進捗状況

事業名	10か年の目標量	平成28～令和5年度実績	進捗状況
福祉避難所の整備	新規施設整備22施設 備蓄物資整備131施設(新規25施設、既存延106施設)	新規施設整備23施設 備蓄物資整備103施設(新規28施設完了、入替75施設完了)	順調
防災倉庫の整備	区民集会所併設防災資器材倉庫等の整備(移設・新設等)	区民集会所併設防災資器材倉庫等の整備(移設・新設等)	平成30年度計画事業完了
減災・防災対策の充実	指定避難所防災備蓄倉庫の環境整備 災害時給水体制の整理	防災備蓄倉庫の移転(7校) 応急給水栓の整備(64校) 防災備蓄倉庫の整備に向けた対策水道を基盤とした給水体制の充実	令和2年度計画事業完了
都市防災不燃化の促進	建替助成 環状8号線板橋西地区18件 補助第82号線板橋地区14件	建替助成 環状8号線板橋西地区1件 補助第82号線板橋地区1件	一部遅延等
建築物耐震化促進事業	【非木造建築物】 耐震診断80件 改修設計70件 耐震改修70件 【特定緊急輸送道路】 改修設計71件 耐震改修88件 【木造建築物】 耐震診断900件 耐震補強360件 除却150件 建替100件 耐震シェルター30件	【非木造建築物】 耐震診断29件 改修設計1件 耐震改修2件 【特定緊急輸送道路】 耐震診断3件 改修設計19件 耐震改修26件 【木造建築物】 耐震診断362件 耐震補強81件 除却177件 建替77件 耐震シェルター0件	一部遅延等

事業名	10か年の目標量	平成28～令和5年度実績	進捗状況
木造住宅密集地域の整備促進	大谷口周辺地域 新防火区域の指定 その他の地域における事業化検討	大谷口周辺地域 新防火区域指定 清水町・蓮沼町地区 新防火区域指定	令和4年度 計画事業完了
大谷口一丁目周辺地区不燃化まちづくりの推進	主要生活道路整備 木造住宅建替え促進 建替助成60件 延焼遮断帯形成5件	主要生活道路整備 木造住宅の建替え促進 建替助成(設計)28件 建替助成(工事)3件 老朽建築物除却58件 専門家派遣15件	一部遅延等
細街路拡幅整備事業	拡幅整備延長 23,000m	拡幅整備延長 15,659m	平成30年度 計画事業変更
無電柱化の促進	緊急輸送道路等に対する整備路線の洗い出し 都市計画道路事業(補助87号、補助173号、補助249号、補助73号等)での整備まちづくり(大山、板橋駅周辺等)との連携	緊急輸送道路等に対する整備路線の洗い出し 「板橋区無電柱化推進計画2025」策定・チャレンジ路線(1路線)決定 都市計画道路補助87号線、補助173号線の整備 チャレンジ路線の無電柱化詳細設計、地元協議、支障移設	順調
かわまちづくりの推進	河川区域内連絡通路整備	河川区域内外連絡通路設計 河川区域内外連絡通路工事にに向けた調整	順調

【進捗状況の評語】

「順調」：概ね計画に基づいた進捗が図られているもの。(7割以上)

「完了」：計画策定当初の目標又は目的はすでに達成し、計画事業としての役割を終えたもの。

「一部遅延等」：計画事業量に一部遅延等が生じているもの。

「変更」：事業実績や方法等の見直しにより、計画事業外としたもの。

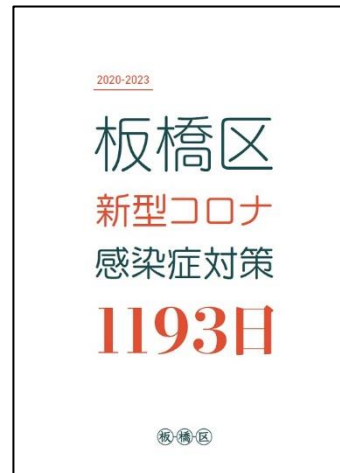
3 令和5年度区民意識意向調査の結果

調査内容		全体	10歳～20歳代	65歳～74歳	75歳以上
災害情報を収集するために確保している手段	第1位	テレビ放送：58.5%	インターネット(ホームページ等)：47.9%	テレビ放送：73.7%	テレビ放送：70.3%
	第2位	インターネット(ホームページ等)：38.9%	テレビ放送：43.7%	インターネット(ホームページ等)：31.3%	ラジオ放送：29.4%
	第3位	ラジオ放送：20.0%	特にない：20.2%	ラジオ放送：29.6%	板橋区防災マップアプリ：21.8%
災害に備えた家庭内での対策	第1位	飲料水・非常用食料の備蓄：59.8%	飲料水・非常用食料の備蓄：52.9%	飲料水・非常用食料の備蓄：64.8%	飲料水・非常用食料の備蓄：53.6%
	第2位	一時集合場所、避難道路、最寄りの避難所(区立小中学校等)、避難場所の確認：37.5%	生活用品(衣類や洗面用具など)、医薬品(常備薬など)の準備：33.6%	一時集合場所、避難道路、最寄りの避難所(区立小中学校等)、避難場所の確認：44.7%	家具の転倒、物の落下や移動の防止：36.2%
	第3位	生活用品(衣類や洗面用具など)、医薬品(常備薬など)の準備：36.9%	ハザードマップの確認/特にない：22.7%	家具の転倒、物の落下や移動の防止：42.5%	一時集合場所、避難道路、最寄りの避難所(区立小中学校等)、避難場所の確認：34.8%
飲料用・非常用食料の備蓄日数		平均(日分)：4.0日			
		全体	板橋地域	常盤台地域	
お住まいの地域の治安が保たれていると感じるか		感じる：65.3%	感じる：61.8%	感じる：72.3%	

#### 4 基本計画 2025 計画期間における社会環境の変化等を踏まえた対応

##### ■新型コロナウイルス感染拡大とポストコロナ時代の「新たな日常」を見据えて

- 令和元年末から感染が拡大し、全世界でパンデミックを引き起こした新型コロナウイルス感染症は、私たち現代人が経験したことのない未曾有の事態をもたらしました。
- 区では、区民の安心・安全を守ることを第一に、医療体制の確保、ワクチン接種などの感染拡大防止策を実施するとともに、社会経済活動の維持・継続の両立を図るため、全庁を挙げてコロナ対策・対応に最優先に取り組んできました。
- 令和5年5月8日、感染症法上の位置づけが5類に移行され、外出制限や濃厚接触者の特定及び外出自粛要請はなくなりました。ウィズコロナの下、個人・事業者の状況に応じた自主的な判断と取組が基本となったものの、今後も一定の流行が続くことが予想されることから、引き続き国や都の動向を注視し、必要な感染症対策を講じていきます。



#### 5 区民検討会の結果

##### 【意見の概要】

10年後のめざす姿	実現に向けて必要な政策	区民ができること
スムーズな避難ができるまち	①災害発生時の速やかな対応 ②ハザードマップの具体的指導とその周知	①人に迷惑をかけずに生きていく ②避難グッズは自己で
交通ルールの守れるまち	①自転車ルールの教育 ②自転車道路の確立	①ルールは守る ②人の立場に立って考え、行動する
災害に強い	①インフラ整備 ②災害時の連絡（多言語） ③避難所の設置	①家族の連絡方法 ②2日分の備蓄 ③ハザードマップの確認
多世代が生活しやすい	①子育て支援 ②高齢者支援 ③公園・図書館（サービス施設）の設置	①地域センターの利用促進 ②コミュニティづくり（イベントなど） ③近所ぐるみで子育て
きれいな町	①公園整備（大・小） ②ゴミ箱の運用方針	①ゴミの分別協力 ②ボランティア活用
誰もが安全に利用できる道路・交通	（1）関係機関との調整・連携 ①道路の整備（自転車用の道路を広く） ②急な坂道には緩やかなスロープ ③交通事故発生場所に防犯カメラ （2）区からの情報発信 ①日々起こる事故についての情報を、自転車通学する子どもたちに情報共有	（1）日頃からできることの心がけ ①自転車の安全運転、メンテナンス ②交通ルールについて ③子どもにも声掛け
自然災害への備え	（1）区からの情報発信 ①川の氾濫リスクや避難経路の説明会 ②リアル開催と、録画して YouTube や SNS による発信など、複数の発信経路を持つ （2）空き家の定期的な点検	（1）何が危険か、情報を得て勉強する ①防災マップや区の SNS などを確認 ②区の説明会に行く （2）区民から区への相談・情報提供 ①危ない空き家があるよ

10年後のめざす姿	実現に向けて必要な政策	区民ができること
全体	①相談・連絡窓口の周知 ②電話窓口だけではなく LINE なども活用 ③（区に連絡しやすい環境） ④危険な場所の調査、危険な場所のピックアップ →優先してお金を使う場所の決定	—



711-703

## ～万全な備えの安心・安全～

### 10年後のあるべき姿

- 防災グッズ普及
- 避難ルートチャート化&共通
- 自転車の専用ロード教育
- 歩きたばこ禁止
- 防災知識
- ハザードマップを使いやすく、具体的に
- 子育てしやすい
- 犯罪ない
- 外国人へのサポート
- 外国人
- 高齢化社会

### 実現に向けて必要な政策と区民ができること

#### スムーズな避難ができるまち

- 災害発生時の速やかな対応
- ハザードマップの具体的な指導と周知

#### 交通ルールの守れるまち

- 自転車ルールの教育
- 自転車専用道路の整備

次期板橋区基本構想・基本計画の策定に向けた区民検討会 2024.6.8

711-704

## ～万全な備えの安心・安全～

### 10年後のあるべき姿

- 災害に強い
- 防災対策
- インフラ不安
- 外国人でもわかりやすい説明
- 多世代が生活しやすい
- 生活しやすい
- 安全なまち
- 夜でも安心して女性が歩ける

### 実現に向けて必要な政策と区民ができること

#### 災害に強い

- インフラ整備
- 災害時の連絡
- 避難所設置

#### 多世代が生活しやすい

- 子育て支援
- 高齢者支援
- 公園・図書館設置
- ゴミ箱の運用方針

#### きれいな町

- みどりが多い
- きちんと管理された公園がたくさん
- ゴミ分別協力
- ボランティア活用

次期板橋区基本構想・基本計画の策定に向けた区民検討会 2024.6.8

711-702

## ～万全な備えの安心・安全～

### 10年後のあるべき姿

- 道路
- 安全な道路設計
- 交通量の流入の整備
- 交通安全
- 1日中安心できるまち
- 自然災害への備え
- リスク軽減策や避難経路の周知

### 実現に向けて必要な政策と区民ができること

#### 交通安全

- LINE活用
- 相談連絡窓口
- 説明会
- 川の氾濫リスク
- 避難経路
- 自転車事故への情報
- 道路の整備
- スロ-プ・防犯カメラ
- 防犯カメラ
- 点検と評価
- 危険な場所・空家

#### 区民ができること

- 交通安全心がけ
- 情報と得て勉強
- 区への相談情報提供
- 防災グッズやSMS等での説明会へ

次期板橋区基本構想・基本計画の策定に向けた区民検討会 2024.06.15